

支部探訪―旭川

支部長 福田 光男

支部創立四十周年

一九六九年志賀芳彦、成松岳人、氏家ひろき氏が三役になり六十名を超える会員で、北海道写真協会旭川支部を作り、今年で四十周年になりました。

設立の年に志賀芳彦氏が厚生大臣賞受賞、翌一九七〇年には成松岳人氏が運輸大臣賞受賞、一九七〇年、一九七一年、一九七五年と各大臣賞を受賞し、その後志賀芳彦氏が顧問となり、会の運営発展に寄与されました。私も一九八三年に入会し会員として道展に出品させて頂くようになりました。

四十年という長い年月の中で会員の増加減少とめまぐるしい変化がありました。現在は志賀芳彦、田村健太郎写真道展審査委員の両氏に顧問になって頂いています。本部会費、支部会費、写真集代を含めて二五〇〇〇円と



支部作品展会場

いう会費ではありませんが、現在会員も三〇数名となり、女性の人数が徐々に増加し、会の運営も順調に進んでおります。

今年には田本實氏が第3部ネイチャーフォトの部「お先に」で環境大臣賞及び写真道展大賞を受賞し、会も非常に盛り上がりつつあります。



パソコンの勉強会

プリント映写機を使つての例会

例会は月一回道新の会議室を借りて行っていますが、最近ではデジタルが普及し百数十点の中で四十%を超えるようになってきました。志賀芳彦、田村健太郎顧問に月例の審査をお願いしています。スライド映写機とプリント映写機を使い会員に説明してもらいながら三時間以上にわたり指導を受けています。デジタルの普及により撮影だけでなくパソコンの知識も必要になってきていますので、今年には創立

四十周年という記念事業の二環として、専門の先生を頼んでパソコンの勉強もしています。

また、例年支部の作品展をしています。今年は大に行い祝賀会も計画していますので、本部の役員の方々にもご協力をお願いすることもあると思いますので、宜しくお願い致します。

新審査会員抱負を語る

今年には新たに四人の審査会員が誕生しました。それぞれにこれからの抱負を語っていただきました。



宮川恵子 (札幌)

カメラが傍らにあること、多くのすばらしい先輩諸氏・友人と出会えたこと、そして今ここに「ご推挙を頂きましたこと」をととても幸せに感じております。

表現することの喜びを糧に、これからも皆様と共に歩んでいきたいと強く思っております。今後ともご指導宜しくお願いいたします。



福田光男 (旭川)

この度、写真道展審査会員に推薦頂き大変光栄に存じます。諸先輩の先生方をはじめ、道写協旭川支部の皆様にも深く感謝申しあげます。

写真を始め、たくさんの感動に出会いました。今後も好きな写真を撮り続け、出会いと感動を大切に、心に残る作品を表現していきたいと思っております。また、道写協の発展のために、微力ではありますが、努力してまいります。

今後とも宜しくご指導くださいますようお願いいたします。



高橋和幸 (釧路)

この度、写真道展審査会員にご推挙いただき身にあらまる光栄に存じます。

日頃から諸先生方のご指導のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。名に恥じぬよう日々研さんを重ね、微力ではありますが更なる道写協発展のため、責任を全うするよう努力する所存です。今後とも、ご指導よろしくお願い申し上げます。



滝野邦保 (小樽)

この度写真道展審査会員に推挙いただき嬉しく思っています。この機会を得られたのも諸先輩のご指導並びに、支部会員の交流のおかげだと思っております。審査会員としての任務をわきま、本部及び支部活動に貢献していきたいと思っております。

写真は仲良く、楽しくをモットーに写真活動に励んでいきたいと思っております。